

中堅基礎研修 第2日目

令和4年度10月7日に中堅基礎研修グループ①、10月21日にグループ②が開催されました。

スケジュールは、右の通りです。**10月**

9 : 00～10 : 00	高齢者に多い病気②
10 : 00～11 : 30	記録・アセスメント
12 : 30～14 : 00	認知症ケア
14 : 00～15 : 30	ケアプラン・評価モニタリング
15 : 30～17 : 00	入浴・食事・排泄 実技試験の説明



《受講者研修後アンケートより》

入浴・食事・排泄…実技課題の説明の講義のアンケートから…

Aさんは…

職員のペースで手伝いがちになっている部分があったので、ご利用者が出来る所は、声かけを行い、自分で行って頂く。身体機能を維持する事が大事だと感じました。全て介護する事だけが正しい訳じゃないと思いました。話す時の目線や声のトーン、立ち位置にも注意していきたい。

Bさんは…

事例を通しての介助を実践してみて、まず思ったことは、日頃のケアは自他共にある意味、過剰に介助をしていることが多いと思った。ご利用者が本来できると思われる部分まで介助しており、それが半分当たり前になっていることに気付いた。原点を振り返り、ご利用者の残存機能を生かすことができるような声掛けや支援を意識する必要がある。



上のアンケート結果は、どちらも介護職員さんのコメントです。毎日忙しく介護していると、大切なことを忘れがち。ご利用者の安心や自立を本当に支援できているのか、気づくことができたようです。講師の的確なアドバイスや注意により、緊張もしたけど、多くのことを学びなおす機会になったと、コメントしている人がほとんどでした。



by 研修担当 香川

中堅研修 第1日目

令和4年度中堅研修第1日目は、10月14日に行いました。8月に行う予定が、コロナの関係で2か月遅れで開催。13名の参加でした。

9:00~10:30	慈光会リーダーに求めること
10:30~12:00	認知症
13:00~15:00	後輩を育てる介護技術の指導方法
15:00~17:00	高齢者に多い病気③



《受講者研修後アンケートより》 介護技術の指導方法のアンケートより…

Aさんは…

正しい座位での支援で食事について前かがみになっているかどうかの確認や、テーブルの高さがその方に適切かどうかや、足底がしっかり床についているかどうかや、イスに座って安心感が保てているかどうか、文字にするのは簡単だけど、実技で実際にやってみると基本的なことができていないことが多かったです。この研修のおかげで基本動作を改めて見直すことができ、デイサービスでまた初心に戻って焦らずその方に会うケアをしていきたいと思いました。後輩に「どうしたらいいか？」と聞かれた時、迷わず教えられたらいいなと思いました。声かけのしかた、介助のしかた、一つ一つを丁寧にしていきたいです。



中堅研修は、後輩の育成を視野に入れた内容です。介護技術では、基本動作を改めて見直すことができたようです。後輩に迷わず教えられるようになりたい、という思いを、しっかりアンケートに記入してくださいました。もうあなたは立派な先輩！



by 研修担当
香川

